

## 第 207 回 昭和の森自然観察会

### 「啓蟄・春の目覚め」

佐藤哲司（四街道）

日 時：2009 年 3 月 8 日（日）10～14 時 天気：曇りのち雨

参 加 者：指導員 26 名

担当指導員：八木千里 佐藤哲司

今年の啓蟄は 3 月 5 日、観察会の 3 日前になります。例年この時期は大地が温まり、地中の虫達が地上に這い出てくるとはほど遠く、暖冬の今季でも虫の姿を観察するのは難しい。

まして今日は今にも雨が降りそうな曇り空、晴れて暖かければ、越冬中の昆虫が飛び出してくれるかもしれないと言う、淡い期待も裏切られてしまった。そういう中でも陽だまりの草々は着実に春に目覚め、黄色のヘビイチゴやスカイブルーのオオイヌノフグリの花が咲き、葉の色も多彩になり始めています。観察の手段として指導員の皆さんに色カードを持参して頂きましたので、微妙な色



の違いを比較、色合わせをしたところ、次のような感想が聞かれました。

- 1) 春浅いので逆にじっくり緑を見れた。
- 2) 自分で思っていた色と色カードで合わせた色の違いに驚いた。
- 3) 色の和名は難しいが綺麗だ。こども観察会でも工夫したら使える。 等々

虫の方の観察では、第 2 駐車場から下りた最初の池で、ウシガエルの越冬した大きなオタマジヤクシが多く見られ、小さなアマガエルが 1 匹草むらに潜んでいました。また、事前に用意した堆肥と朽木からカブトムシとクワガタの幼虫を取り出し、形態的な違いの説明。堆肥と朽木にいるカブトの幼虫の色の違いなども観察しました。オオムラサキとゴマダラチョウの幼虫も 15 匹ずつ用意しましたが、初めて見る人もいたようです。

午後は雨となり一般の人の観察会は中止になりました。事務所で食事の後、これも事前に用意したアカガエル一つの卵塊を指導員だけで調べることにしました。まず、卵の数はどの位か？何個で 1g になるだろうか？それぞれ予想を立て、計量をしてから細かく分け、それぞれカウントして合計を出しました。結果、全体の重さ：222g、卵の数：868 個、よって 1 卵の重さは 0.256g。約 4 個で 1g となります。ちなみに、1 円玉 1 個が約 1g です。本によると、1 卵塊は 500～3000 個。また一個の重さは産卵からの日数で異なるようです。



後記：自然観察会の趣旨からして事前にサンプルを用意するのは如何かと思いますが、たとえば、エノキに大勢が取り囲み幼虫を探すことになると、樹の周りの多くの虫が踏み潰され、なおかつ貴重な虫の存在を明らかにしてしまいます。今回は虫の少ない時期もあり、用意しました。